



平成 21 年 1 月 28 日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所 (コード番号：4570)
本店所在地	群 馬 県 高 崎 市 あ ら 町 5 番 地 1
代 表 者	代 表 取 締 役 社 長 清 藤 勉
問 合 せ 先	経 営 企 画 室 長 木 下 憲 明
電 話 番 号	027-310-8040 (代表)
U R L	<a href="http://www.ibl-japan.co.jp">http://www.ibl-japan.co.jp</a>

### ガレクチン-3 抗体の心疾患分野における 診断薬の開発に関する独占契約締結のお知らせ

株式会社免疫生物研究所（本社：群馬県高崎市、社長：清藤 勉、以下「IBL」）は、ビージーメディシン社（本社：米国ウォルサム市、以下「BG」）と、BGが現在行っているうっ血性心不全の体外診断用医薬品開発で使用するために、IBLがBGに対して抗ヒトガレクチン-3モノクローナル抗体を長期間供給するという独占契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

#### 【概要】

心疾患は重篤な症状を起こすことも多く、急速に進む人口の高齢化により心疾患の発生、罹患率が増加し、早期の発見・診療の必要性が劇的に高まる見込みです。

ガレクチン-3は、2003年に初めて、うっ血性心不全の後に現れる予測マーカーとして生物学的な関連が見いだされました。その後の大規模な臨床試験において、血液検体中のガレクチン-3を測定することにより、急性非代償性心不全（ADHF）から60日以内の心不全再発を予測できることや、安定心不全患者の3年以内の再発を予測できることが確認されました。また更なる検討において、ガレクチン-3は心臓のポンプ機能低下につながる心臓の線維症やリモデリングにおいて役割を持つという新しい証拠が示され、上述の疾患の再発予測を支持しています。このようにガレクチン-3は、心疾患改善の治療に役立つ重要な指標になることが考えられます。

BGは、診断薬開発を目的としてIBLの作製した抗ヒトガレクチン-3モノクローナル抗体を評価検討してまいりました。最終的にBGはその性能を確認したことを受け、このたびIBLはBGに対して、BGが行う心疾患分野における体外診断用医薬品の開発で使用するために、抗ヒトガレクチン-3モノクローナル抗体を長期間供給するという独占契約を締結いたしました。

なお、契約の経済条件内容については公表しておりません。

## 用語解説

### うっ血性心不全について

心臓が全身に十分な血液を送り出せない疾病であり、米国で推定600万人の患者がいると言われています。うっ血性心不全の原因としては、冠動脈狭窄、心臓発作、慢性高血圧症、心臓弁あるいは心筋の異常などがあります。症状としては足や足首のむくみ、息切れ、体重増加など不特定な症状を示します。また、5年生存率は推定50%であることから多くの癌よりも死亡率は高く重篤な疾病です。効果的に治療し、さらなる重篤な合併症を防ぐために、医師は患者の的確な診断を行いその後の経過症状を予期することが求められます。現在うっ血性心不全に対する完治治療はありません。

### ガレクチン-3について

ガレクチンは糖の一種であるβ-ガラクトシドに親和性を持つレクチンファミリーに総称されるタンパク質です。その中のガレクチン-3は、体内において多様な免疫誘導活性をもち、免疫機構に関与しているといわれています。

### 株式会社免疫生物研究所について

1982年に、医薬品、医薬部外品および研究用試薬の研究、製造、販売を目的に設立されました。抗体を中心とする免疫学の研究成果と基盤技術を基に、研究用試薬の開発・製造・供給および受託サービスなどからなる研究用試薬関連事業、実験動物の輸入・開発・製造・供給および受託サービスなどからなる実験動物関連事業、医薬シーズのライセンス事業からなる医薬関連事業及び飲料水販売からなるその他事業を展開しております。従業員は、64名であります。

### ビージーメディシン社について

社名：BG Medicine, Inc.

所在地：610 Lincoln Street North Waltham, MA 02451 U.S.A

事業内容：BG Medicine, Inc.は、患者のさまざまな情報とヘルスケアに関わるコストを考慮して、新しい分子診断法の発見、開発、および事業化を行う生命科学会社であり、患者の治療決定を改良できる情報を臨床に提供する分子診断法を開発しております。

詳細は <http://www.bg-medicine.com/> まで。

以上